

やまびこ

松阪市立柿野小学校
学校通信
R5. 9. 20



9/9(土)自由参観・子どもの幸せを語る会・引き渡し訓練

ご来校ありがとうございました

夏休みが終わり学校生活が軌道に乗りにかけたとはいえ、週末の土曜は疲れていた子どもたくさんいたと思います。そんな中での自由参観でしたが、子どもたちはすてきな姿を見せてくれました。くわしくはホームページをご覧ください。



柿野小 HP アドレス <http://www.iinan-matsusaka.com/kakino/>

また、引き渡し訓練では開始後スムーズにお子さんを迎えていただきありがとうございました。当日は訓練で晴天でしたのでとどこおりなく進みましたが、雨天の場合は運動場のぬかるみなど不便な点もあったらと考えられます。ですが本当に引き渡しが必要な際にはそんなこともいってられません。今回の訓練のように、地区ごとの引き渡し場所に来ていただきますようよろしくお願いいたします。

10月の予定 (4日以外水曜日は一斉下校 14:15 です)

- 2日(月) 引き落とし日
- 3日(火) 個別懇談会 一斉下校 13:15
- 4日(水) 個別懇談会 一斉下校 13:15
- 5日(木) 個別懇談会 一斉下校 13:15 EST来校
- 6日(金) 前期終業式・伝達表彰式
愛校活動(前期最後)
- 7日(土) 小中連携土曜朝市
10:00~12:00 道の駅茶倉 6年児童3名
- 10日(火) 後期始業式・任命式 司書来校(午後)
- 12日(木) 4年社会見学 ALT来校
- 13日(金) 愛校活動(後期最初) 特別教室掃除
- 17日(火) 司書来校(午前)
ICT支援員来校(午前)
- 19日(木) EST来校
- 20日(金) 1年校外学習・交流会(粥見小1年と)
- 24日(火) 土性沙羅さん出前授業(3限目)
- 26日(木) ALT来校
- 27日(金) 学校創立記念日
- 31日(火) 司書来校

7日(土) 小中連携土曜朝市(CS活動)

飯南中校区コミュニティ・スクール(CS)活動の一環として、飯南中学生徒会、柿野小粥見小の児童会代表がタオルと手袋、トートバック等を販売します。売り上げはCSの運営資金となります。ぜひ道の駅茶倉へいらしてください。♡♡



★10月24日(火)3限目(10:40~)
土性沙羅さんの講演会(児童対象)
が体育館であります。
よろしければご来校ください。

子どもの幸せを語る会

講演「命のお話」～いのちってあたたかいよ～

「子どもの幸せを語る会」には38名の保護者・地域のかたにご参加いただきました。引き込まれる内容に時のたつのもあつというまで、会場で意見や質問を聞く時間がとれませんでした。子どもたちから講師の山本さんへの手紙と、参加された方の感想を載せましたのでご覧ください。一人ひとりの感想は長文でしたので、一部抜粋しています。



～4・5・6年生からの手紙～

●お母さんは私のことを約 24 時間ぐらいで出産したと言っていました。私はまだ 11 才でまだまだ生きていくので、お母さんから分けてもらった命を大切にしたいです。

●ただ言葉で説明するだけでなく本などを使ってとてもおもしろく説明をしてくれたり、男子と女子の体のちがいなどくわしく教えてくれたりしてとてもわかりやすかったです。

●しゅっさんする人には 1000 人に 1 人 2 人くらい亡くなるお母さんがいることや、おなかの中で赤ちゃんが亡くなったり赤ちゃんを産んだりするには大きな愛がみつようだったりと知りました。

●ながい話を聞くときにわたしはだいたいねむくなってしまいう時があるけど、山本久代さんはそうではなくちょっとおもしろくわかりやすかったです。

●ちょっとはずかしかったりしましたが、どうやって赤ちゃんはできるのか、それとどうやって赤ちゃんはおなかの中にはいったのかしれてうれしかったです。

●私は鳥が赤ちゃんをおなかの中に入れてのかなと思っていましたが、それとちがって「えっ」とびっくりしました。

●助産師さんのしていることや妊娠している方への接しかたがよくわかりました。

●山本さんの話を聞いて、もしもせい理が来て、男子たちにバシたらからかわれるのかと少しこわかったけど、男子にも痛くないせい理のようなものがあると知って安心しました。

●ぼくたちは、お父さんとお母さんがいなかったら産まれないこと、ぼくたちはおなかの中でどうやって産まれたかなどを本などで教えていただいてわかりやすかったです。

●ぼくはどうなってぼくのもとができるのかとてもきになっていたのですが、それもかんたんに絵本で説明してくださってすごくわかりやすくておもしろかったです。

●あらためて、自分が元気に生まれて今まで生きていることをほこりに思い、これからも自分の身は自分で守っていきたいと思いました。

●自分にとっていやなことやはずかしい体の変化は大切なことだとわかったので、自分の体を大切にしたいなと思いました。



●おなかに赤ちゃんがいる人はすごいなと思いました。3kgほどある赤ちゃんが10か月もおなかにいると思うと絶対に大変だと思ったからです。

●私は今、自分がここにいることは決してあたりまえではないということに改めて考えることができました。私も言いにくいことはあるけれど今日のお話を聞いてスッキリしました。

●私は子どもの幸せを語る会で、成長するとともに声変わりしたりすることがわかりました。他にどうしたら子どもが産まれるのかを聞いてみたことは何回かあります。しかしはっきりしないことが多くとても気になっていました。しかし、今回の授業でわからないことがいろいろとわかりました。とてもわかりやすい説明でよく伝わりました。

●私は生理がなんで女子にしかこないのだろうとずっと思っていたけれど大切なだとわかりました。私がかここにいることは奇せきだと思いました。

●ぼくは生まれてくること自体がすごいことなんだなと思いました。生きていることの感謝をより感じだし、ふだんあまり考えたことのないことを考えたりしました。

●毛が1人だけはえていなかったり、1人だけはえていたりしても、毛がはえるのは個人差があるから「お前だけはえてる」などのことは言わずに個人差があるので理解しようと思いました。

●個人差や個性があるのに、いじめたりからかったりばかにしたりすることはしてはいけないとあらためてわかりました。

●一番心に残ったのは、お父さんやお母さんが出会ったから今の自分があるということです。私はこれから第二性徴が始まると知りました。

●講演を聞いて命の重みとあたたかさを学びました。流産してしまったお母さんの話を聞いたとき、改めて私たち子どもは親から愛されているのだなと感じました。

●自分は疑問が一つありました。それは精子がどのように女性の体に入るのかということです。私は今回それを初めて知りました。精子はプライベートゾーンを通して女性の体に入るということです。

●いじめなどで自殺する人がいるということを前にニュースで見たことがありました。そしていじめで簡単に命が無くなってしまったら、お母さんにさずけてもらった命がむだになってしまうので命を大切にしたいと思いました。

●お母さんのお腹の中にいる時から命があり、一人の人間として生きていることを知りました。

●助産師さんの仕事は大変だと知りました。赤ちゃんを産むのを手伝う仕事だと知りました。

●お母さんにありがとうと言いたいと思います。

●また私もみんなをたすける人になりたいです。

●おなかの中で死んでしまった赤ちゃんを出すとき、おなかをきって出すと、お母さんがそのきずを見て「産んであげられなくてごめんね」と言ってしまうかもしれないから、気をつけて、死んでいても産んでもらったりしていることを教えてもらいました。助産師さんのことも知れてよかったです。

●足の指が6本で産まれた子の話を聞いたとき、最初是指6本で産まれるんだとおどろきました。で



も指5本が当たり前じゃないということを聞き、確かにそうだと思います。社会的な「ふつう」で考えてしまうとだれかは「ふつうじゃない」となって知らない間に人を苦しめてしまうとわかったので、だれもが自分と同じじゃないということを忘れないでいようと思いました。

●じんつうは女の人だけに来るもので、たまにおなかがいたい時にくるいたさがずっとくるので、わたしはそのいたさはたえられないので、お母さんたちはとてもがまんしながらわたしたちを生んでくれたので、とても感謝しようと思いました。

●指が6本ある子どもや死さんの赤ちゃんもいると聞いて、そのお母さんのお話を聞いて泣きそうになりました。元気に生まれてくることは当たり前じゃないと知りました。

●ぼくは今日山本さんの読んだ本で、命は大切だと思います。こんどからもっとじこことかたかいところからおちて死なないようにいっぱい生きてみたいです。ねっちゅうしょうにも気をつけたいです。

●私が大人になったときに安心して子どもを作れると思いました。

●ふしぎだと思ったのはどうやってごはんも食べていないのに、赤ちゃんはおなかのなかでせいちょうしているんだろうと思いました。しらべたらさいしょは人間のかたちをしていなくてのうやしんぞう、はいなどからつくられているのをしってびっくりしました。

●ぼくはお話を聞く前は約10分の8がわかりませんでしたでしたが、聞くと半分以上の言葉がよくわかりました。お母さんも絵の表現のしかたが面白くて、とてもわかりやすいといっていました。ありがとうございました。

●わたしはたまにお母さんにわたしは赤ちゃんのとき、どんな子だったの?とかいろいろと質問するのですが、そのときにお母さんが「本当に生まれてきただけですごいんだよ。」と教えてくれました。

●この話を聞いて私も助産師さんになりたいなと思いました。そして山本さんのような人になって全国の妊婦さんを支えたいです。



～保護者・地域のかたの感想～

●親からもなかなか伝えられないことを難しすぎず、子どもたちに飽きさせないように楽しく話してくれる、そして考えさせてくれる良い機会だったと感じます。

●助産師さんの豊富な経験からの命の話など、とても心に残りました。

●今回高学年の子たちが対象でしたが、自分の子どもにも聞いてもらいたいと思いました。

●子供が産まれた時の気持ちを思い出して、無事に生まれてきてくれて良かったなとあらためて思いました。

●親になり、子にどうやって伝えたらよいのだろうか?と迷っていた部分をしっかり学ばせてもらいました。

●子どもと一緒に聞かせてもらえたので、どんな話なら聞いたことがあるのかがわかって、今後子どもたちと話しやすくなったなと感じました。

●今ある命がたくさん奇跡が積みかさなり存在しているのだと改めて感じました。

●人権教育、性教育などをうまく合わせ、子どもの目線で話していただいたことに感謝しました。

●いいお話をされると聞いていたので一度聞いてみたいと思っていました。子どもたちにとって、親にとってこうした話を聞いて考える機会が大切だと思います。

